

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業の概要

事業名	一般国道218号 高千穂日之影道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	起点：宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井 終点：宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折	延長	5.7km		
事業概要	<p>一般国道218号は熊本市を起点とし、宮崎県北部地域及び熊本県央地域を通過し延岡市に至る延長約127kmの主要幹線道路である。</p> <p>高千穂日之影道路は、一般国道218号における道路線形の悪い区間の回避、災害発生時の代替路の確保及び交通事故低減を目的とした宮崎県西臼杵郡高千穂町と宮崎県西臼杵郡日之影町を結ぶ延長約5.7kmの自動車専用道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>高千穂日之影道路は、一般国道218号における道路線形の悪い区間を回避するとともに、災害発生時には代替道路としての役割を果たして県北地域と熊本方面を結ぶ唯一の緊急輸送道路1次ネットワークの確保に寄与する事業であり、あわせて多発する交通事故の低減を図ることを目的とする。</p> <p>また、一般国道としての役割をはたしつつ、九州横断自動車道延岡線の一部の機能を代替することにより、地域間の広域交流を促進して宮崎県北部地域の暮らしや経済の発展に資するものであり、また、宮崎県北地域から3次医療施設である県立延岡病院への所要時間が短縮されることから住民の安心・安全の向上が期待される。</p>				
全体事業費	202億円	計画交通量	9,300～9,400台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.8	総費用：161億円 （事業費：151億円 維持管理費：10億円）	総便益：285億円 （走行時間短縮便益：242億円 走行経費減少便益：30億円 交通事故減少便益：13億円）	基準年 平成20年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.6	(交通量-10%)	B/C=1.9	(交通量+10%)
		事業費変動	B/C=1.6	(事業費+10%)	B/C=1.9	(事業費-10%)
		事業期間変動	B/C=1.6	(事業期間+20%)	B/C=1.9	(事業期間-20%)
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響は無い。		
		事故対策	○	<p>死傷事故率の高い区間の事故減少が見込まれる。</p> <p>【死傷事故率】 単路部：約45件/億台キロ（現況） [宮崎県平均比：約1.1倍（41.6件/億台キロ）] 交差点部：約334件/億台キロ（現況） [宮崎県平均比：約4.3倍（77.8件/億台キロ）] 【事故率曲線】 死傷事故率が九州管内道路の上位3割、宮崎県内道路の上位2割に含まれる。</p>		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	3次医療施設県立延岡病院への時間短縮に寄与。 (高千穂町～県立延岡病院 現況68分 → 将来63分)		
		地域経済	◎	観光産業への支援 (宮崎県内で最大の観光スポットである“高千穂峡”へのアクセス向上)		
		災害	○	災害発生危険箇所の回避（防災点検における要対策箇所27箇所の回避） 災害発生時の迂回機能確保（現道寸断時の迂回距離（幅員5.5mが確保されたルート）は九州管内最長の約200km）		
		環境	○	走行性の向上及び走行距離の短縮等により自動車からのCO2排出量が2,747t-CO2/年抑制される。		
		地域社会	◎	日常滑動圏である中心都市間の連携強化 (高千穂町～延岡市 現況68分 → 将来63分)		
	事業実施環境	◎	九州横断自動車道建設促進期成会等をはじめとした積極的な要望を受けており地元の期待が大きい。			

関係する地方公共団体等の意見

「九州横断自動車道延岡線建設促進期成会（会長：延岡市長）※」他5団体から国土交通省九州地方整備局に対して早期整備の要望を受けている。また、計画内容に関して宮崎県知事のご意見を改めて伺った結果、異存ない旨の回答を頂いている。
※延岡市長（会長）含め宮崎県北地域の全市町村長（2市5町2村）でS61.9に発足。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
環境調査を実施し、宮崎県、高千穂町、日之影町とルート・道路構造について確認しており、円滑な事業執行の環境が整っている。

採択の理由

費用対便益が1.8と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認出来る。
また、災害発生時の代替路線としての役割を担い、また、交通事故の低減や宮崎県北部地域から3次医療施設である県立延岡病院への搬送時間短縮が図られるなど地域住民に密接に関わる事業効果を発揮することが期待されることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断される。
以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。